

研修会の報告



本年度は実務従事者基礎研修（委託事業）を含む十一コース二十五日の研修を企画運営しております。まずは、終了した研修のアンケートをご紹介いたします。

◎居宅介護支援事業所の現場で役立つ実務事務研修

つくし訪問看護ステーション 松井清之先生
本研修も四年目。大変人気の高い講座で、当初の定員を大幅に超える申し込みをいただき、六月に追加開催いたしました。

【アンケート抜粋】

- 業務の意味や流れがよくわかった。業務目的が理解できれば、仕事が覚えられる気がする。
- 先輩ケアマネも居らず不安いっぱいですが、松井先生の研修を受けて大変心強く、前向きになれました。
- いちから学びたかったことを教わり、不安感が少し解消されました。心強い限りです。
- ファイルの整理等は大変参考になりました。省令等、自分の解釈に自信が持てないでしたが、分かり易く教えて頂き、大変役立ちました。
- 講義を受けたとおりに業務を行えば実地指導も怖くないと思います。

◎シブー小体型認知症・前頭側頭型認知症研修

山口県立こころの医療センター部長、中山寛人

先生

九十名定員のところ二百名近い申込者となり、会場を変更して百五十二名のご参加をいただきました。お断りした皆様に紙面を借りてお詫び申し上げます。支援現場で苦慮することが多い疾患でもあり、関心の高さを実感しました。

● 中山先生のお話しはとても分かりやすく丁寧で理解しやすかったです。ケアマネの立場として病状を理解し家庭環境の配慮やご家族の対応方法等もアドバイスしていきたいと思えます。

● 自分の担当している利用者さんの症状を思い浮かべながら講義を聞くことで、支援の方法を見直す良いきっかけになりました。

● 単にその病名と決めつけるのではなく細かい症状1つ1つに、きめ細かく対応する必要があると感じた。薬物だけでなく、相手の気持ちを推しはかることが基本である。

● 大変聞きごたえのある研修でした。
● 中山先生の患者さんに対する優しさ、温かさが感じられ、ケアマネとしてのご本人への接し方の参考になった。先生の講義が聞けて良かったです。

◎施設介護支援専門員研修

宇部フロンティア大学 三輪直之先生
午前中は講義、午後は施設種別ごとのグループワークでした。

● プランを作成するにあたり、他職種との連携や立ち位置等についての現状と、それに対する対処法についてよく理解できました。

● 聴く力、他職種間との連携、ケアマネとして

のスキルアップ等をしたと思います。利用者様の立場に立ち計画書作成にあたりたいと思えました。

● 同じ仕事をしている人と話し合え、ホッとすることができた。

他のケアマネと交流すること自体が少ないため、情報交換の場として活用いただけたいと思います。
次年度は、施設種別ごとにアセスメントやプラン作成に踏み込んだ内容で開催したいと考えています。

【今後の研修会予定】

◎相談援助職者のいろはの「い」

平成二十六年十月七日（火）
福岡県介護支援専門員協会副会長 江上文
幸先生

◎満足度の高い会議運営法研修

平成二十六年十一月十五日（土）
皇学館大学 守本友美先生

◎知っておきたい他法・制度 第一部（午前）

障害者総合支援法研修会
山口県相談支援専門員協会副会長 岡村恭子先生

◎知っておきたい他法・制度 第二部（午後）

成年後見制度研修会
お茶の間社会福祉士事務所管理者 金江浩子先生
平成二十六年十二月二十日（土）